

# イヌガシ

[木本] 《嗜好》



葉は輪生状につく。



花期は春。



裏面は白色。

## 区別のポイント

葉は枝に間隔をあけて輪生状に付く。シロダモに似るが葉の裏面はシロダモの方がより白い。三行脈がはっきり見える。花は春に咲き紅色。果実は黒紫色に熟す。

**形態** 常緑小低木。高さ 10m。

**分布** 本州（房総半島以西）・四国・九州

**名前の由来** カシと似るが本物ではないことから。

**葉** **〈全体〉**薄い革質で表面は緑色、裏面はロウ質で白色。三行脈。  
**〈付き方〉**互生だが枝先に集まって付く。  
**〈葉柄〉**8～15mm。  
**〈基部〉**くさび形。  
**〈葉先〉**鋭尖頭。  
**〈縁〉**全縁。

**備考** 西部，15では好き、九州では嫌いなものとなっている。

**出典** 1, 9, 14, 15